2020年

7月18日(土)—9月13日(日)

開館時間　午前10時～午後5時(入館は午後4時半まで)
休館日　月曜日(但し、8月10日(月・祝)は開館、翌11日(火)は休館)
観覧料　一般1,400円・高大生700円・小中生500円
※20名様以上の団体は一般1200円、高大生600円、小中生400円
※土曜日は高校生以下入館無料
主催　徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・読売新聞社
協力　名古屋市交通局

徳川美術館
THE TOKUGAWA ART MUSEUM

蓬左文庫
HOSA LIBRARY

特別展

Special Exhibition
Urushi Extraordinaire
Lacquerware Masterpieces
from the Tokugawa Art Museum Collection

漆

徳川美術館珠玉の名品

企画展

Thematic Exhibition
Ghosts, Ghouls, and Goblins
Strange and Fantastical Figures in Japanese Art

怪々奇々

鬼・妖怪・化け物…

上から
重要文化財　朱漆花鳥七宝繋文密陀絵沈金大椀　琉球　十六～十七世紀
牡丹菊文堆朱平食籠　明時代　十五世紀
秋草蒔絵椀　江戸時代　嘉永五年(1852)
百鬼夜行絵巻　模本(部分)　江戸時代　十八～十九世紀
大江山絵巻(酒呑童子絵巻)　三巻の内　中巻(部分)　江戸時代　十七世紀
すべて徳川美術館蔵

特別展

漆

徳川美術館 珠玉の名品

Special Exhibition
Urushi Extraordinaire
Lacquerware Masterpieces from the Tokugawa Art Museum Collection

繊細で美麗な意匠

日本・中国・朝鮮半島・東南アジアからインドあたりにかけて産出される漆の樹液を塗布した器物は、防湿性・防腐性に優れ、しかも酸やアルカリにも強い耐久性があり、さらに美しい光沢をもっています。また接着力も強く、東洋では古代からさまざまな工芸品や建造物などに用いられてきました。世界的コレクションとして知られる徳川美術館の唐物漆器を中心に、器体に金や銀の粉を蒔き付けて繊細で美麗な意匠を凝らした蒔絵、さらに朝鮮、琉球などの諸作品を通じて、現在のわれわれの生活の中で使用する機会が少なくなっている漆工芸の美しさと魅力をたどります。

楼閣人物図螺鈿分銅形食籠
明時代　十五～十六世紀

屈輪文犀皮食籠・盆
南宋時代　十三世紀

秋の野蒔絵手箱（部分）　鎌倉時代　十三～十四世紀

菊鵞文白密陀彫文庫（部分）　明時代　十五世紀

花鳥図漆絵密陀絵箔絵折敷　琉球　十八世紀

武大夫物語絵巻　三巻の内　下巻（部分）　江戸時代　十九世紀

大江山絵巻（酒呑童子絵巻）　三巻の内　下巻（部分）　江戸時代　十七世紀

百鬼夜行絵巻　模本（部分）　江戸時代　十八～十九世紀

企画展

怪々奇々

鬼・妖怪・化け物…

Thematic Exhibition
Ghosts, Ghouls, and Goblins
Strange and Fantastical Figures in Japanese Art

世にも奇妙で愉快な世界

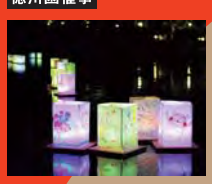
死後の世界、寝静まった後の夜の時間、暗い闇の向こう側、普段立ち入らない場所や、他人の心のなか。見えない領域にひそむ恐怖は、一般に鬼や幽霊・妖怪といった存在に置き換えられてきました。

かれらは、物語の中では驚かせ怖がらせ、絵画として描かれれば ユニークな姿で人々の目を楽しませもしてきました。

本展では、古典文学に記された怪奇現象から、幽霊や鬼、妖怪の世界をご紹介します。

百物語戯隻六（部分）
江戸時代　十九世紀

徳川園催事



夜に憩う
徳川園夕涼み
8月12日（水）
ー16日（日）

夜間開園
午後8時30分まで

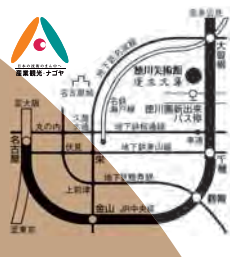
次回予告

八星メダイヨン文絨毯

秋季特別展
「殿さまが好んだヨーロッパ
ー異国へのまなざしー」
9月20日（日）ー11月3日（火・祝）

御三家筆頭の尾張徳川家に伝来した日本と西欧を関連づける品々を一堂にご紹介します。国内でも珍しい作品を数多く含む、貴重なコレクションをお楽しみください。

基幹バス「徳川園新出来」下車徒歩3分
JR中央本線「大曽根駅」下車南口より徒歩10分

徳川美術館 THE TOKUGAWA ART MUSEUM　**蓬左文庫** HOSA LIBRARY

〒461-0023 名古屋市東区徳川町
徳川美術館　電話（052）935-6262　FAX（052）935-6261
名古屋市蓬左文庫　電話（052）935-2173　FAX（052）935-2174